

# 静岡大学 理学部 同窓会会報

NO. 21

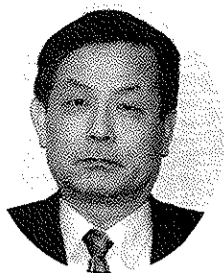
発行所  
静岡大学理学部同窓会  
静岡市駿河区大谷836  
静岡大学理学部内  
TEL 054-237-1111(代)  
会長 浅野安人

## 新しい世界への出発

理学部同窓会会長 浅野安人



21世紀に入って、5年が



初めまして。昨年4月に

理学部長を拝命しました相原です。よろしく願い申し上げます。化学科の所属で、理論化学を専攻しております。ベンゼンのような芳香族化合物がなぜ不安定なのかを研究してきました。安定というのは、反応しにくいとかこれににくいとかいう意味です。あまり世俗的な研究テーマではありませんが、ぜひご容赦ください。理学部の近況をかいつまんでご報告いたします。すでに「ご存じかと思いますが、生物地球環境科学科がこの4月に生物科学科と地球科

経過しました。静岡大学は独立法人化してから2年が経過し、理学部もまた新時代に対応するために大きな変化を遂げようとしています。静岡大学の、今後の更なる飛躍を期待したいと思っております。

学科に改組されます。現行の生物地球環境科学科は、生物科学科と地球科学科を統合した学科として全国的にユニークな存在だったので、背景とする学界がまったく異なることから、互いに馴染みにくかったように、このたび円満にもとの

20世紀の後半には、技術の進歩が学問の世界の進歩に大幅な遅れを取り、ある分野においては、今後の面白い研究テーマはないものと思われた時代がありました。しかしながら、技術の進歩とともに、時間軸の非

学科に対応する5専攻からなる理学研究科として発足します。新生の理学研究科には、放射化学研究施設の協力により放射科学教育プログラムが置かれ、数学以外の全専攻の学生が放射科学教育を受けられるようになります。静岡大学のすべ

常に短いナノ秒の世界の観測から、神岡宇宙素粒子研究施設のように、その建設に2年、大マゼラン星雲の超新星爆発から飛来した二重ニュートリノの観測までに5年をかけて行うような、時間軸の広がりを持つものまで、また、カーボンナノチューブの開発のように原子配列のレベルに近い極小の世界の観察から、褐色矮星の観測から宇宙空間における星の誕生の解析を行うようなスケールの大きなものまで、興味の種の尽きない数多の世界が目の前に広がってきました。化学の世界においても、生物学の世界においても同様のことが言えます。

学部には7名の教員定員の削減を求められました。といっても、それには定年や転出で空いたポストの不補充で対応するしかありません。すでに3名が削減されましたが、来年度末にはさらに4名の定員を削減しなければなりません。そのよ

## ご挨拶と理学部の近況

理学部長 相原 惇一

2学科に戻ることにになりました。新学科の名称は生物科学科と地球科学科です。大学院は、理工学研究科を構成していた博士前期課程と博士後期課程が、4月から独立の研究科に分かれます。それに伴って、理学系の修士課程は、学部の5

ての理系修士課程の上には、共通の博士後期課程として創造科学技術大学院が設立されます。現在その制度設計の最後の詰めを行っております。法人化後、天岸学長は静岡大学の運営のスリム化・効率化に努めておられ、理

うな次第で、理学部は当面、学科別の教員定員は設けず、学部全体で少なくなつた教員定員を融通し合いながら運営していくことになりました。教員の削減を完了しますと、理学部の教員数は79名になります。理学部は財政的にも苦境

中で作り上げた理論を実証する手段が限られていました。私が理学部に入学したときには、計算手段がタイガー計算機から機械式のコンピュータに変わった頃で、まだ電卓などは国産化されていませんでした。物理学科のゼミにおける試験装置の回路に半導体を使用し始めた頃で、学生実験でも電気回路の実験はまだ真空管でした。また、私が大学を卒業して就職した30数年前も、半導体でギガヘルツの信号を処理することが夢の時代でした。ところが、近年の電子産業の進歩により、計測手段が多様化し、その精度も格段に向上してきました。パーソナル・コンピュータの処理速度がギガヘルツが続いております。静岡大学に配分される運営費交付金が毎年漸減しているからです。当面の困難を緩和する方策として、今年度から科研費取得教員から5%のオーバーヘッドを理学部に納めていただくことにしました。ところが、このような状況下で非常に意外なことですが、昨年度の理学部決算では高額の剰余金が生じたのです。そこで、これを千載一遇のチャンスととらえて、理学部棟のすべての教室にエアコンを設置することにしました。静岡大学は、7月一杯を授業や期末試験に充てておりますが、これでやっと学生諸君に快適な条件で夏場をしのいでいただけます。エアコン導入には、理学部福利厚生会からも多額のご支援をいただきました。

## 「理学部同窓会連絡委員会」の設置について

連絡委員会委員長 伊澤 達夫

かつての国立大学は平成16年度から国立大学法人となり、大学は社会的に孤立した存在でなく、密接な相関性を求められ、大学での研究・教育の成果は第三者から評価される時代となりました。それは、理学部のような実業と結びつきの少ない基礎的学問の分野においても例外でなくなりました。大学での研究成果・教育内容は社会に発信され、逆に社会の各現場から大学に問題提起されることも希少のことではなくなりました。それによって、研究・教育の在り方に少なからず影響を受けつつあります。このような時代に大学が十分に機能するためには、社会の各分野で活躍する同窓生と大学のパイプをより強固なものとし、互いに活用することが大切になると思われまます。このような観点から前理学部長であった石川勝利先生は2年程前理学部内に「理学部同窓会連絡委員会」を設置し、理学部同窓会と理学部との意思疎通を円滑にするパイプ役の任務を与えました。この委員会は各学科から選出の5名で構成され、各学科とのパイプ役となっております。そして初年度の16年度には、「卒業講究・研究抄録誌」を刊行し、学部卒業生、院前期課程修了生が卒業研究・講究のテーマの概要を友人、保護者にもある程度理解できるように易しい言葉で表現し、相互理解と連帯の一助とするだけでなく、自分の学生時代の想いを込めた記念となることを願ったものです。また、この抄録誌は新入生にも配布され、本理学部においてはどんな研究・学習ができるかの道標にすることも狙いました。この刊行には同窓会から全面的に資金援助を受け、正に同窓会と理学部の連携協力によって実現したのです。

公開講演会

「第五福竜丸と静岡大学」

主催：静岡大学キャンパスミュージアム 共催：理学部同窓会

後援：生涯学習教育研究センター 理学部附属放射化学研究施設

キャンパスミュージアムの展示コーナーには、死の灰と呼ばれた保存試料と当時の関連資料などが公開されている。...

講演会は、2005年6月25日(土)午後1時から

機業していたマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員も被ばくし、社会的に大きな衝撃を与えた。...



元第五福竜丸漁労長 見崎氏

と五福竜丸



死の灰、試料の最新測定装置による現状、核実験の地球環境への影響、環境放射能研究と将来の展望が紹介された。...

環境放射能研究の将来に対する展望が紹介された。この日、キャンパスミュージアムも公開された。以下は講演会のプログラムである。

Table with 2 columns: 第1部 (静岡大学放射化学研究施設とビキニ事件) and 第2部 (死の灰の現在の放射能). Includes names of speakers like 長谷川 園彦 and 杉 末廣.

退職教員の部 (2006年3月退職)

退職教員の略歴紹介は、ご本人の同意を得た後に、次号にて掲載いたします。

●浅井 哲也(あさい てつや) 数学科 基礎数理講座(代数学・数論)

●伊澤 達夫(いざわたつお) 数学科 基礎数理講座(代数学)

●白井 古希男(しらひこきお) 数学科 基礎数理講座(数学基礎論)

退職職員紹介 新任職員紹介

●小崎 高太郎(こさきこうたろう) 全学入試センター(代数学)

●鈴木 武彦(すずき たけひこ) 物理学科(原子核物理学)

●櫻井 厚(さくらい あつし) 化学科(天然物有機化学)

●吉岡 潤江(よしおか ひろえ) 化学科(放射能研究)

●新任教員の部 (2006年4月着任)

(1)田中 直樹(たなか なおき) 数学科 学歴：1990年10月早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程数学専攻修了(理学博士取得) 職歴：1988年4月早稲田大学教育学部助手、1991年4月高知大学理学部助手、1993年4月岡山大学理学部助教、大学院自然科学研究科助教を経て、2006年4月から数理解析講座・教授。専門分野：実解析学(作用素半群の理論と発展方程式)



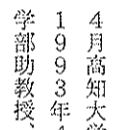
(2)毛利 出(もうりいず) 数学科 学歴：1992年3月京都大学理学部数学科卒業、1998年8月ウィントン大学大学院数学科博士課程修了(Ph.D. 取得) 職歴：パデュエ大学(Visiting Assistant Professor)、トledo大学(Visiting Assistant Professor)、ニューヨーク州立大学ブロックポート校(Assistant Professor) 等をを経て、2006年6月から静岡大学理学部数学科基礎数理講座・助教。専門分野：代数学(非可換代数幾何学)



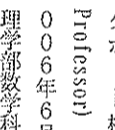
(3)依岡 輝幸(よおかてるゆき) 数学科 学歴：2000年3月大阪大学理学部数学科卒業、2002年3月神戸大学自然科学研究科博士前期課程修了、2004年3月神戸大学自然科学研究科博士後期課程修了(博士理学) 取得 職歴：2004年4月日本学術振



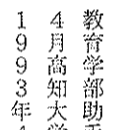
(4)大吉 崇文(おおよし たかのり) 化学科 学歴：東京工業大学大学院理工学研究科博士課程中退(理学博士) 職歴：シカゴ大学大学院博士研究員を経て、2006年4月より静岡大学理学部化学科構造化学講座助教。専門分野：光化学、スピニング、物理化学、ナノバイオロジー 研究テーマ：時間分解磁気共鳴法によるタンパク質活性領域の分子運動と電子機能の解明



(5)山本 歩(やまもと あゆむ) 化学科 学歴：東京大学大学院農学研究科博士課程修了(農学博士) 職歴：独立行政法人情報通信研究機構主任研究員を経て、2006年4月より、静岡大学理学部化学科構造化学講座助教。専門分野：生化学、分子細胞生物学。研究テーマ：単細胞生物である酵母を研究材料とした生殖細胞形成における染色体分配の研究。抱負：生殖細胞に起因する不妊や発達障害などの原因の究明につながる研究ができ



(6)小堀 康博(こぼり やすひろ) 化学科 学歴：東京工業大学大学院理工学研究科博士課程中退(理学博士) 職歴：シカゴ大学大学院博士研究員を経て、2006年4月より静岡大学理学部化学科構造化学講座助教。専門分野：光化学、スピニング、物理化学、ナノバイオロジー 研究テーマ：時間分解磁気共鳴法によるタンパク質活性領域の分子運動と電子機能の解明



(7)大矢 恭久(おおや すすき) 化学科 学歴：東北大学大学院理学部博士課程修了(工学博士) 職歴：日本原子力研究所核融合工学部博士研究員、東京大学アイソトープ総合センター助手を経て2006年4月より静岡大学理学部放射化学研究施設放射線環境影響評価部門助教。2005年9月「炭化ケイ素中における水素同位体の滞留挙動および捕捉・脱捕捉メカニズムの解明」で第2



回日本原子力学会核融合工学部会賞奨励賞を受賞。専門分野：放射化学。研究テーマ：核融合炉材料中のトリチウム挙動に関する研究。抱負：静岡大学の発展に少しでも貢献できればと思っております。

れば、と考えています。趣味：音楽鑑賞や体を動かすのが好きで、特にスキューバダイビングは大好きです。ひとこと：よろしくお願ひします。

(8)石原 顕紀(いしはらあきのり) 生物科学科 学歴：静岡大学理学部、静岡大学大学院理工学研究科を卒業後、千葉大学大学院医学薬学部4年博士課程に進学。在学3年次より株式会社ダイナコムに入社し社会人大学院生となる。2006年3月医学博士取得。職歴：2006年4月より、静岡大学理学部生物科学科生体調節学講座助手。専門分野：分子生物学、バイオインフォマティクス。今後、甲状腺系を攪乱する化学物質の標的遺伝子のゲノムワイドな検索、および転写制御機構のシステムバイオロジカルな解析を行いたいと考えている。



8)石原 顕紀(いしはらあきのり) 生物科学科 学歴：静岡大学理学部、静岡大学大学院理工学研究科を卒業後、千葉大学大学院医学薬学部4年博士課程に進学。在学3年次より株式会社ダイナコムに入社し社会人大学院生となる。2006年3月医学博士取得。職歴：2006年4月より、静岡大学理学部生物科学科生体調節学講座助手。専門分野：分子生物学、バイオインフォマティクス。今後、甲状腺系を攪乱する化学物質の標的遺伝子のゲノムワイドな検索、および転写制御機構のシステムバイオロジカルな解析を行いたいと考えている。

公募のお知らせ 同窓会通信ニックネーム 理学部同窓会ロゴマーク 上記を公募します。 期日 7月31日 原稿の送り先 yasubee@mail.wbs.ne.jp 電話 0543-45-6058 明陽電機(株)





日時：12月15日(木)  
16時05分～17時35分  
場所：理学部B202教室

第1部 (16時05分～17時05分)  
講演会 「教員に採用されるために」  
静岡県教育委員会高校課首席管理主事  
磯貝信二先生

第2部 (17時05分～17時35分)  
講演会 「ワンランクアップの小論文作成法」  
元静岡県立高校教頭  
静岡大学理学部第一期生  
高塚芳弘先生

同窓会活動報告

理教職アドバイス

講演会

12月15日(木)

講演会講師の感想

『彼ワ誰今新』の皆さんへ 理学部化学科一期生 誰ソ彼今新(一人) というタイトルを掲げ、あの懐かしの(B202)教室で、教職希望の3年生、200人にお話をする機会をいただきました。30分の持ち時間で、34年ほどの教職経験を踏まえてのアドバイスという形をとりましたが、話したいことが多々あり、大分予定時間をオーバーしてしまいました。準備する書類の型や書き方等事前に知っていれば少しでも準備に余裕ができるだろうという内容を話したつも

りです。このところの大変激しい採用状況を見ると、心から「頑張つてね」というメッセージも込めました。大部分の皆さんは、計2時間以上になったにもかかわらず、熱心に聞いてくれていた様子を感じて終わり、準備の苦労も忘れてしまいました。 「何年かかっても就こうと努力する価値はある専門職!」という言葉が、継続的に複数の経験者(ベテラン・中堅・新任者等)がアドバイスをする機会(同窓会と大学の連携)があれば、なお後輩には有効であろうと考えました。(高)

無題

山川恵子

(旧姓阿久津)

卒業後、30余年企業に勤務し、ソフトウェアの開発やネットワークの国際標準化作業なども経験し、それなりに充実した仕事が出来たと思っています。二人の子育ても一段落し、改めて自分のこれからの見つけ、自分が住む地域で、得意なところを使って役に立てることは何だろうか考えました。

その結論と結果が今の生活です(設計途中ですが)。企業を退職して新たに栄養学を学び、卒業と同時に生活の地を日本アルプスの近く(山が好きで、何時でも山に行ける)に移して、「子供健康料理教室」を開いています。そこでは「大人になっても健康で自立できる食生活を営める子供を育てる」を目標に、目下、びつ子と料理を通じて健康な体を作るための食事を学んでいます。

ところで「料理」は文系? 栄養学を学んで分ったこと

同窓生の窓

陸奥の春

星野敏明

会報が皆の手に届くころには、陸奥の遅い春も終わりに近づき、八重桜も散りかけていることと思う。大学院終了後、畑違いの液晶の開発・製造に携わって30年、自分なりに精一杯

やってきたつもりだが、いまや韓国、中国勢の参入により、激しい戦いを迫られている。これも、景気が落ち込んだ過去の10年間に、日本のエンジンがリストラにあつて、中国や東南アジアに流れたこと。そこで、廉価な経費の下で技術指導から設備の立ち上げにまで関与し、大規模生産の工場がそこに出現したこと。それに併せて技術が日本から流出していくといった図式が各業種の中で定着化していったことによる。これも世の中の動向としてやむをえないものもあるが、いささか寂しい気がしてならない。

理学部同窓会の総会開催について

下記の予定で理学部同窓会の総会を行います。

日時 2006年8月19日(土)  
13:00 受付開始  
13:30 総会 理学部B202号室 (議題)  
1.会計報告、事業報告 2.会則改訂 3.その他  
14:00 研究施設見学 放射化学研究施設、総合研究棟  
15:00 懇親会 理学部大会議室 (出席者数により変更することがあります)

同窓会寄付講義 講師募集

平成18年度より理学研究科の講義の一つとして、理学部同窓会寄付講義が開設されます(学部の学生も聴講します)。この講義は、研究機関や企業・中高校等で活躍中の理学部同窓会の会員により、企業や研究所、教育現場などで今何をして

のような人材が望まれているのか、また、大学院・学部でどのようなことを学ぶべきかなど、在学中の経験をふまえ、およそ60分からの90分の講演していただきます。『静大版』を先導して、後輩のために貴重な先輩としての経験談をして下さる方を募集しております。詳細は、理学部生物科学科・塩尻信義までご連絡下さい。

事務局だより

○今年は、例年になく桜の開花が早い年でした。独立法人化してから2年経ち、静岡大学もいろいろな改革に取り組んでいるようです。

○市町村の合併が促進され、かなり多くの市町村の名前が地図の上から消滅しました。現在同窓会員の名簿の見直しを開始していますが、これだけ多いと、見落としがあるかもしれません。同窓会からの連絡に関して、お気づきの点があれば、ご指摘いただけると幸いです。

○個人情報保護条例の施行に伴い、同窓会名簿のあり方にもいろいろな議論が出ています。同窓会役員会の基本方針としては、以下のとおりとすることとなりました。①名簿は継続させる。②平成18年度配布のものより、自宅電話番号及び勤務先電話番号を掲載しない。③メールアドレスは記載しない。④本人からの希望があれば、勤務先、現住所の掲載をやる。この件に関しては、同窓生の動向を知りたいという要求に添えること、同窓会の存在を如何に証明するかということと個人情報保護の漏洩を如何に防ぐべきかとの問題があります。この問題に関して、会員の皆様が無言のうちに事務局に寄せてくださいることを希望します。 ○今年8月に理学部同窓会の総会を開催する予定で、準備を始めています。できたら、同窓会にあわせて、各ゼミ単位の懇親会を開催してはどうかでしょうか。事務局もささやかにお手伝いしたいと思います。 関野口